

竹村小学校 150周年に向けて

発行 150周年記念事業
実行委員会

竹村小学校の150年の歩みを振り返ろう⑤ ～明治から令和に至るまで時代の変化と共に学校は大きく変わった～

来年度、本校は150周年を迎えます。1873年(明治6年)の開校から現在に至るまで、学校は時代の変化と共に大きく変わってきました。竹村と豊田市の移り変わりについて、主なできごと特に合併に至るまでを振り返りましょう。

竹村と豊田市の合併

暦年(西暦)	竹村のおもなできごと	暦年(西暦)	豊田市のおもなできごと
明治22年 (1889年)	・合併により、竹村、若園村、堤村、駒場村ができる。		
明治39年 (1906年)	・駒場村、若園村、堤村、竹村が合併し、高岡村誕生。 ※人口 8219人	明治39年 (1906年)	・挙母町、梅ヶ坪村、宮口村、逢妻村、根川村が合併し、挙母町となる。 ※人口 10423人
		昭和26年 (1951年)	・挙母町が挙母市となる。 ※人口 32400人
昭和31年 (1956年)	・高岡村が高岡町となる。 ※人口 16880人	昭和31年 (1956年)	・西加茂郡高橋村と合併する。 ※人口 42430人
昭和34年 (1959年)	・伊勢湾台風で大きな被害 ※高岡村の被害総額は6億8千万円	昭和34年 (1959年)	・市名を挙母市から豊田市に変更 ・トヨタ自動車工業 元町工場が操業を開始する。
		昭和39年 (1964年)	・碧海郡上郷町と合併する。 ※人口 72304人
昭和40年 (1965年)	・高岡町が豊田市に編入合併する。 ※人口 27587人	昭和40年 (1965年)	・碧海郡高岡町と合併する。 ※人口 107408人 ○その後、昭和時代に猿投町、松平町と合併する。
昭和41年 (1966年)	・トヨタ自動車工業 高岡工場が操業を開始する。		
昭和45年 (1970年)	・トヨタ自動車工業 堤工場が操業を開始する。	平成17年 (2005年)	・藤岡町、小原村、足助町、下山村、旭町、稲武町が豊田市と合併 ※人口 407682人